

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市立乳児院			
管理者名	社会福祉法人愛宕福祉会	指定期間	平成27年4月1日	～ 平成32年3月31日
担当課	福祉部こども未来課			
所在地	新潟市中央区川岸町1丁目57番地1			
根拠法令	児童福祉法第37条			
設置条例	新潟市乳児院条例			
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 527.25㎡ ・延床面積 469.80㎡ ・構造・階高 木造 地上2階建 ・施設内容 養育室（共用ラウンジ、寝室、ほふくスペース、キッチン等）、応接・相談室、診察室、調理室、事務室、親子生活訓練室等 ・定員 15名 			

施設設置目的
<p>保護者の離婚や病気、養育困難、虐待されている乳児、その他不適切な環境により、家庭で育てることが困難な場合に、児童相談所の判断で乳児（保健上、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、幼児を含む。）お預かりし養育し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設。</p>

管理・運営に関する基本理念、方針等

<p>1 基本理念</p> <p>社会的養護の理念と原理のもとに、乳幼児の心身及び社会性の健全な発達を促進し、その人格の形成に資する養育を行うとともに、児童相談所や児童福祉施設等の関係機関と密接な連携を図り、乳幼児に適切な支援を行うこと。</p>
<p>2 重点政策</p> <p>(1) 養育・支援</p> <p>乳幼児の命を守り、その心身及び社会性の健全な発達を促進するため、家庭的な環境で一人ひとりの心に寄り添い、愛着関係を築き信頼関係を育むとともに、発達を支援する環境を整える。</p> <p>(2) 家庭・里親への支援</p> <p>家庭復帰に向けた親子関係の再構築支援を行い、あるいは、里親への委託に向けた取組を行う。</p> <p>(3) 自立支援計画、記録</p> <p>子ども一人一人の心身の状況や、生活状況等を正確に把握した、自立支援計画を策定する。</p> <p>(4) 関連機関連携、地域連携及び支援</p> <p>市、児童相談所、里親会、医療機関及び他施設等の関係機関等との連携・協力体制を構築する。また、地域の里親支援、子育て支援等に取り組むなど、施設のソーシャルワーク機能を活用し、地域の拠点となる取組を行う。</p> <p>(5) 職員の質の向上</p> <p>定期的に研修に取り組む等、職員一人ひとりの質を向上させ、施設全体の養育・支援の質を向上させる。</p>
<p>2 管理運営方針</p> <p>(1) 当該業務において善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。</p> <p>(2) 施設の設置目的を踏まえて、施設の一体的な管理によりその効果を最大限発揮させるよう、努力するものとする。</p> <p>(3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。</p> <p>(4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、保護者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すものとする。</p> <p>(5) 保護者等や地元等からの要望等に対し、公の施設の管理運営の公益性に鑑み、公平・中立を是としてその運営にあたるものとする。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	サービス満足度	里親研修受講者等へのアンケートを実施し、「満足」が80%以上	里親研修は実績なしだが、民生委員等の研修受け入れのアンケートは100%「よい」評価。	A	視察・研修受け入れ等のアンケートでは、施設環境及び職員対応につき高い評価を得た。
	苦情・要望への対応	原則7日以内に回答	苦情なし。	A	苦情0件である点を評価する。
財 務	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支状況の記録	法人経理規定、経理マニュアルに基づき適切に管理実施。	B	指標どおりであった。
	管理経費の削減	中長期的な管理経費削減計画の作成の着手	新規開設初年度のため、リサーチの年度とした。	C	具体的な計画の作成は未着手のためこの評価とする。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切に実施。	B	指標どおりであった。
	安心・安全の確保	・避難訓練等の実施(月1回以上) ・業務マニュアルの作成	毎月の避難訓練、防犯訓練を実施。 各種業務マニュアルの作成を実施	B	指標どおりであった。 児童相談所や周辺施設との合同避難訓練は引き続き実施していただきたい。
	個人情報保護の徹底	・施設内研修の実施(1人あたり年1回以上) ・業務マニュアルの作成	研修の実施。法人新人研修等一人あたり年1回 マニュアルの作成。	B	指標どおりであった。ボランティア受入にあたって、個人情報保護を徹底していただきたい。
	関係機関との連携等	会議等への積極的な参加(年12回以上)	児童相談所と子ども未来課と定例会 8回 担当者会議(ケース会議)の開催入所児ひとりにつき1回以上。	B	指標どおりであった。
	地域との交流	地域と関わりのある行事を年2回以上実施	BPPプログラムの実施 鏡淵地区防災訓練への参加。	B	指標どおりであった。
	社会・地域への貢献	再委託する場合の市内事業者への再委託及び物品等の市内事業者からの調達率90%以上	93%	B	指標どおりであった。
	里親支援の実施	里親研修の受け入れ年2回以上	研修の受け入れは未実施。家庭訪問等の支援を実施。	C	未実施のためこの評価とする。
人 材	適正な人員配置	条例で定めた基準を上回る職員数の配置	基準を上回る人員配置。	A	より高水準となる1.3:1の比率で配置を行っており、評価する。
	配置職員の資質向上	計画的な研修の実施年10回以上	施設内研修15回 法人研修14回 施設外研修述べ33名	B	指標どおりであった。
	ボランティアとの連携	ボランティアの受け入れ人数年間延べ10人以上	52人	A	積極的な受け入れを行い、また受入マニュアルを整備したことを評価する。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守	B	適切に実施されている。
指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)					
<p>新設開所の新しい事業ということで、どの業務も丁寧に慎重に協議、研修研鑽を重ねながら実施をした。事故防止には特に注力し、ヒヤリハットの収集を徹底して実施している。里親研修は、開設初年度ということで実施せず、里親候補者への支援や家庭訪問などを実施したが、次年度は里親研修の受け入れを実施する予定。地域との交流は、施設の状況等も見据えながら、乳児院としての「地域交流」、社会資源としての乳児院の役割を考察しながら実施していきたいと考えている。</p> <p>経費削減については、次年度9月以降になるとランニングコストの比較ができると思われる。毎月の収支状況を分析しながらコスト削減計画等の策定に着手していきたい。</p>					
所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)					
<p>会議等による関係機関との連携や、各種マニュアルの整備により円滑な運営が行われたものと評価する。また、施設内のヒヤリハット事例を分析して職員にフィードバックするなど、事故防止に努めている点を評価する。次年度も引き続き事故防止に努めるとともに、関係機関との連携をさらに強化し、安全で円滑な運営を行っていただきたい。実施を見送りとした里親研修については、次年度の実施に向けて準備を進めていただきたい。</p>					